

平成26年6月吉日

関東・甲信越地区介護事業者 各位

『民間事業者の質を高める』
(社)全国介護事業者協議会(民介協)
関東・甲信越地区
理事 佐藤 雅樹
理事 林 岳史

民介協 関東・甲信越地区研修会
シンポジウム「事業を次世代へつなぐには」開催のご案内

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は当協議会の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日は、民介協関東・甲信越地区研修会のご案内をお送りいたします。今回は「事業の次世代への継承」について講演とシンポジウム形式の組み合わせで開催いたします。

介護事業は、地域包括ケアシステムを支える重要な社会インフラであり、要介護者に対して質の高いケアを提供し続けるためにも、事業を長期的に継続していくことが重要です。しかしながら、後継者の確保と育成は非常に時間を要する難しいテーマであり、また、中小企業のM&Aなどもその現状が分かりづらい面があります。

そこで8月は、事業の次世代への継承をテーマとした講演とシンポジウムを開催いたします。ご多忙とは存じますが、是非とも多数のご出席を賜りますよう、ご案内申し上げます。

謹白

記

○日 時：平成26年8月23日(土) 13:00~16:00

○場 所：神田エッサムホール2階大会議室(千代田区神田須田町1-26-3)

○受講料：会 員 … 無 料

 会員外 … 2,000円(※但し、当日に当会入会の方は会員同様)

○申込み方法：別添申込用紙にご記入の上、FAXで7月30日までにお申込ください。

※ 当研修会では、事業の質を高めていくための価値ある情報を毎回提供して参ります。広く会員外の方にもお声かけいただき、是非とも民介協への入会をお勧め下さい。

【 研修内容 】

- ◆『事業を次世代につなぐために必要なポイント』(有限会社アンビション川田英治氏)
⇒事業継続の方法論、後継者育成の実態、経営者・後継者の心構えなどに関するセミナー
- ◆『事業の永続に向けて何が必要か？(仮称)』(アクセス田端氏、エルフィス阿部氏ほか)
⇒現経営者、次世代経営者によるパネルディスカッション など

※講師、シンポジウム登壇者のプロフィールは別紙「講師プロフィール」参照

【お問い合わせ先】 株式会社若武者ケア 吉田
電話 (045) 349-5181

以 上

《送付先》

株式会社若武者ケア・吉田行
(民介協関東甲信越地区研修会世話人)

※7月31日(木)〆切り
お早めに御連絡ください。

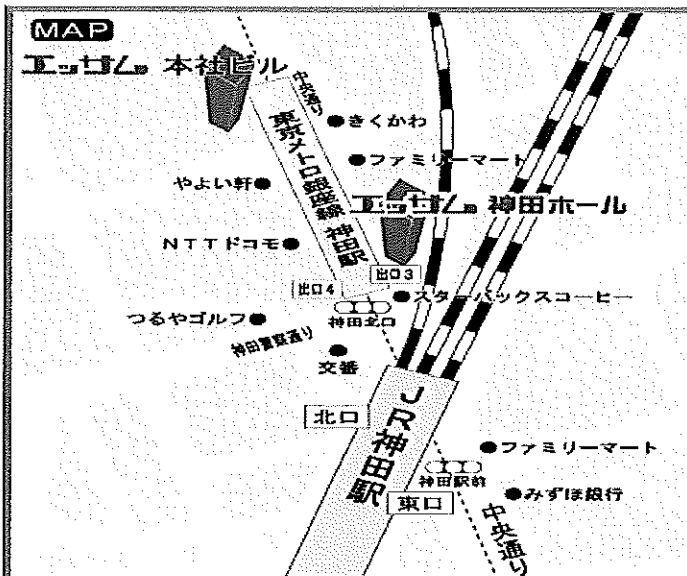
参加申込 FAX 045-349-5182

貴社名		お電話	
-----	--	-----	--

研修会 出席 ・ 欠席

(※各々に○印をつけて、ご返送ください)

	参加者氏名	役職		参加者氏名	役職
1			6		
2			7		
3			8		
4			9		
5			10		



【会場へのアクセス】

JR神田駅 東口 徒歩3分

JR秋葉原駅 電気街口 徒歩6分

東京メトロ銀座線 神田駅 5出口 徒歩1分

東京メトロ丸の内線 淡路町駅 A1出口 徒歩5分

都営新宿線 小川町駅 A1出口 徒歩5分

民介協 関東・甲信越地区 8月研修会 講師プロフィール

◆基調講演 講師

お名前	経歴
<p>川田 英治 氏（現経営者） 有限会社アンビション 代表取締役 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員（訪問）</p>	<p>1959年北海道稚内市出身。2002年株式会社トーモクを経て、2003年有限会社アンビション設立（在宅介護事業）。2007年慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究修士課程修了、2011年同博士課程修了。同年、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員（訪問）。</p> <p>日本介護経営学会、日本プライマリーケア学会に所属。</p> <p>茨城県水戸市で訪問介護、グループホーム、通所介護、ショートステイの4事業を運営し、横浜市では不動産事業会社を3社経営。企業経営の傍ら、博士課程終了後も介護事業組織に関する研究を継続している。</p> <p>直近は、「介護ビジョン」、「シルバー新報」等の商業誌にも寄稿している。</p>

◆シンポジウム登壇者

お名前	経歴
<p>阿部 功平 氏（次世代） 株式会社エルフィス 常務取締役</p>	<p>鳥取県出身。関西大学卒業後、大手外食チェーンに就職し、管理職や新規事業開発に従事。その後、高級化粧品会社で人事・管理職などを経験。平成21年、株式会社エルフィスの前身となる有限会社 エムアンドエヌに入社、介護事業に参画する。翌年に社名が変更となり、現在は「介護」と「保育」、「フード」を融合した新しいビジネスモデルを展開中。</p>
<p>田端 千英 氏（現経営者） 株式会社アクセス 代表取締役</p>	<p>大阪府出身。福祉業界を志したのは阪神淡路大震災がきっかけ。介護保険法もNPO法も施行前で、地域社会に福祉の専門職もボランティア集団も少なく、地域コミュニティを学びたくて平成11年1月6日株式会社アクセス設立。平成12年4月から訪問介護・介護支援事業所を立ち上げ、現在は通所介護、小規模多機能型居宅介護、サービス付き高齢者向け住宅等を運営。個人の社会福祉士事務所では成年後見人として権利擁護事業にも取り組んでいる。</p>
<p>三輪 加子 氏（次世代） 株式会社ケアワーク弥生 取締役</p>	<p>平成10年、有限会社ケアワーク弥生へ入社。介護保険法の制定直後から施行に至るまでの間、すべての業務に携わり、現事業における骨格構築に尽力。平成18年、同退社。介護施設勤務を経験した後、平成20年に再入社し、介護支援専門員として勤務。平成23年、ケアワーク東京開設にともない、ケアマネステーション・ヘルパーステーションの管理者を兼務。平成25年、商号変更とともに現職。</p>
<p>田中知宏 株式会社浜銀総合研究所 主任研究員</p>	<p>1977年 鹿児島県生まれ。早稲田大学商学部卒業後、株式会社鹿児島銀行、早稲田大学大学院 商学研究科修士課程を経て2005年に同研究所入社。高齢者福祉・障害者福祉分野、産業振興関連などの調査研究に従事し、2013年7月より現職。民介協の研究事業を中心として、介護関連の調査研究実績多数。</p>
<p>柴垣 竹生 氏（司会）</p>	<p>大阪府出身。住友生命を経て、株式会社ソラスト（旧日本医療事務センター）入社、現在、介護事業本部 企画推進課長。</p> <p>民介協「次世代の経営者育成研修会」では、世話人の一人として第1回から企画・運営に携わり、研修当日の司会も担当している。</p>